

令和2年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名  | 事業実施主体              | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要  |
|------|------|------------|--|---------------------|-------------|--|
| 1    | 青森市  | ⑥スポーツ・文化交流 | 地域の歴史調査事業  | 三内を美しく元気にする会        | 209         | 住んでいる地域の変容を理解することで、地域への誇りと愛着がわき、心の拠りどころや支えとなる。また、様々な年代の方が参加することで、地域コミュニティに寄与する。さらに成果品に自分の写真が載ることで事業参加の喜びと家族の歴史等を残す契機につながる等の活動を展開する。<br>【事業内容】 ①研修会及び学習会の開催、②地域の移り変わりの調査、③冊子作成、④地域住民への成果発表  |
| 2    | 青森市  | ⑦その他       | 国際基準に基づく災害救助犬とそのハンドラーの育成事業                         | NPO法人北東北捜索犬チーム      | 670         | 災害救助犬及びその候補犬をコントロールするハンドラーがどのような現場でも他団体と合同で創作活動ができるよう国際救助犬のライセンス取得を目指す。<br>【事業内容】 ①先進地(長野県)での研修 ②認定審査会(長野県)への参加  |
| 3    | 青森市  | ④市場・販路開拓   | 青森市内のテイクアウト対応店の認知度向上及び利用客の増加に向けた青森商工会議所連携の学生プロジェクト | 学生団体ForAomori       | 24          | 具体的メニューを掲載したパンフレットを制作・配布し、ネット環境が整っていない・ネットの利用が困難な消費者への「ふんばるアオモリ」の認知度向上と、飲食店の売上向上を図る。また、「テイクアウト商品を展開しているが、インターネット上に情報を発信できていない」事業者向けに、青森商工会議所運営のサイト「ふんばるアオモリ」への掲載に関する概要を提示したチラシを配布し、さらには代行して掲載申し込みを行う等のサポートを実施する。<br>【事業内容】 ①消費者向けのパンフレット作成・配布、②事業者向けのチラシの作成・配布 |
| 4    | 青森市  | ⑦その他       | コロナ対策のための動画配信と飛沫防止パネルの開発                           | 特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク | 773         | 「動画制作と配信」や体験学習やワークショップのための「飛沫防止パネルシステムの開発」、コロナ渦に対応した「新しいワークショップ方式の提案・実践」をおこなう。<br>【事業内容】 ①動画制作と配信、②飛沫防止パネルシステムの開発、③新しいワークショップ方式の提案・実践、④先進地調査、⑤事業推進会議の実施  |
| 5    | 弘前市  | ⑤観光開発      | りんごの街のアップルパイPR事業                                   | (公社)弘前観光コンベンション協会   | 2,000       | 「弘前アップルパイの本」発行を通じて、外部の専門スタッフによる客観的な視点でのアイデアや評価により編集された単行本を効果的にPRに活用するとともに、全国の書店販売を機に首都圏でのプロモーションを実施し、「弘前アップルパイ」の認知度を高める。<br>【事業内容】 ①「弘前アップルパイの本」発行、②「弘前アップルパイの本」寄贈分を活用したPR、③書店販売時の首都圏ショッピングモールでのプロモーション活動実施  |
| 6    | 弘前市  | ⑤観光開発      | ポップカルチャーコンテンツ「桜ミク」活用事業                             | 弘前フィルムコミッション実行委員会   | 721         | 令和2年度は、弘前さくらまつりが第100回の節目の開催となることから、「桜ミク」とのコラボにより、まつり応援ソング制作や市民、観光客が参加できるイベントを展開し、まつりを盛り上げる。<br>【事業内容】 ①「桜ミク」まつりポスター及びまつり応援ソング制作、②「桜ミク」観光スタンプラリー、③「桜ミク」イラスト募集・展示、④「桜ミク」マスキングテープアート  |
| 7    | 弘前市  | ⑥スポーツ・文化交流 | ポップカルチャーと郷土芸能をコラボさせた音楽イベント                         | ういっちたいむ！！実行委員会      | 1,000       | 若年層への地元芸能を知るきっかけをつくり、幅広いジャンルの音楽を聴く機会を創出し、地元住民のポップカルチャーへの理解力の向上をめざす。<br>【事業内容】 ①津軽横笛や三味線、獅子舞等小・中学生向け演奏会等開催、②子ども向けワークショップ開催  |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名                                       | 事業実施主体             | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要   |
|------|------|------------|---|--------------------|-------------|---|
| 8    | 弘前市  | ⑦その他       | 「つがる弘前軽トラ市」                               | つがる弘前農業協同組合        | 736         | 農業者の所得向上、事業をとおした新たな地域内ニーズの発掘、コミュニケーションのある地域づくり、農福連携を通じた地域貢献を目的に、よりJAらしい内容やサービスを充実させて2年目となる「つがる弘前軽トラ市」を開催し、ファンの拡大及び定着を図る。<br>【事業内容】 ①出展募集・開催告知、②会場運営、③定着化に向けた検討・PR活動   |
| 9    | 弘前市  | ⑦その他       | けっぱるべし!「ひろさきch(チャンネル)」                    | ヒロサキch実行委員会        | 1,868       | インターネットを通じ、地域の多様なジャンルを網羅した文化芸術及び物産や地域の魅力を発信することで、ミュージシャンや芸術家への支援と地場商品の販売力向上に貢献し、地域の活性化に寄与する。<br>【事業内容】 ①「ヒロサキch」の開設と運営(出演者等募集、収録及び映像編集、運営(11月22日～23日)、課題総括)   |
| 10   | 弘前市  | ⑤観光開発      | オンライン弘前ねぶた                                | オンライン弘前ねぶた実行委員会    | 1,749       | 今年度中止となった弘前ねぶたをデジタルで再現した映像として、YouTubeなどを使用してリアルタイムで配信する。また、ウェブサイトでの色ぬり機能を実装し、全国の誰でもねぶた絵の塗り絵をし、映像の中のねぶたに即座に貼り付けることができるようにし、製作疑似体験化の実現と次年度のねぶた参加の動機付けとする。<br>【事業内容】 弘前ねぶたのオンライン運行                                   |
| 11   | 弘前市  | ⑥スポーツ・文化交流 | 「弘前地区高校・社会人交流戦2020」～3年生最後の夏を大観衆で応援しよう!～事業 | HIROSAKI市民球団プロジェクト | 874         | 弘前市民球団のチームとして、甲子園が中止になった弘前地区の高校球児やファンにとっての記憶に残る交流戦を開催し、野球の普及振興、弘前の飲食業の賑わい創出、そしてコロナ対策を施した上で多くの観客を集め今後のスポーツ観戦のモデル事業となる事を目標とする。<br>【事業内容】 ①はるか夢球場での高校生と社会人の交流戦、②観客によるスポーツ観戦、③試合のYouTube実況生中継、④球場周辺の露天商の出店            |
| 12   | 八戸市  | ①人材育成      | 若年層の地元就職・UIJターン就職促進のための「しごと場」創出事業         | 八戸市企業誘致促進協議会       | 1,320       | 大学等で得た知識や技術を活かせるような若年層にとって魅力のある成長産業分野、研究開発分野等の「しごと場」を創出するため、航空機産業、自動車産業、医療福祉機器産業、新素材産業、ICT産業等、研究開発拠点を有する企業を中心に新たな企業の立地を目指す。<br>【事業内容】 ①企業向けアンケート調査、②企業訪問活動、③冊子媒体による情報提供、④用地情報交換会参加、⑤その他情報提供                       |
| 13   | 八戸市  | ⑤観光開発      | 新井田川花見屋形船復活と桜並木写真撮影会開催・植林事業               | みなとオアシス八戸運営協議会     | 1,000       | 昔から地域の恵みをもたらしてきた八戸市内の川の魅力の発見と川を活用した観光を復活することを目的とし、特に新井田川の桜並木の魅力を多くの市民の方々に認識してもらい、川沿いの活性化と八戸の観光資源の有効活用、さらには新たな観光開発で八戸観光の誘客効果をねらう。<br>【事業内容】 ①先進地視察、②新井田川花見屋形船復活、③新井田川沿い写真撮影会、④新井田川沿いへの桜の苗木植林、⑤春・秋の新井田川写真撮影会コンテスト開催 |
| 14   | 八戸市  | ⑥スポーツ・文化交流 | あおもり子どもの文化・芸術の祭典～八戸と世界をつなぐ夢フェスティバル～       | NPO法人 はちのへ未来ネット    | 950         | 地方では経験できない、優れた世界の舞台芸術を青森に招致して、国内の子ども文化活動団体とともに作品を提供し、その重要性を周知するとともに、海外のアーティストとの文化交流で地域の歴史や風土も見直し、グローバルな人材育成と多様な地域共生社会の実現を図る。<br>【事業内容】 ①あおもり子どもの文化・芸術の祭典開催、②子どもの文化推進のためのフォーラム開催、③近隣町村での地域公演開催                     |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名  | 事業実施主体                   | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要  |
|------|------|------------|--|--------------------------|-------------|--|
| 15   | 八戸市  | ⑥スポーツ・文化交流 | 八戸イカール国際音楽祭<br>(第10回イカール国際ミュージックキャンプ2020 in Hachinohe) | NPO法人 日本アーツプロジェクト        | 2,000       | クラシック音楽普及、指導者育成、街の活性化を目的とし、これまでのイカール国際ミュージックキャンプ in Hachinoheから名称を変え、新たに八戸イカール国際音楽祭として、地元及び全国から、小・中・高、社会人とプロをめざす人材を募集、育成するとともに新たな八戸市の夏祭りを演出する。<br>【事業内容】 ①受講生への音楽指導、②演奏会実施、③公開講座、講演会実施   |
| 16   | 八戸市  | ④市場・販路開拓   | 八食センター40周年記念事業と販路開拓事業                                  | 協同組合八食センター               | 2,000       | 創業40周年となる八食センターの八戸圏域を牽引する存在価値を高め、まだ掘り起こされていない地域の魅力や価値を創造するため、地域大学等と連携し、地元食材を活用した新商品開発のほか、地域やセンターの活性化及び販路開拓に取り組む。<br>【事業内容】 ①八食フィールドワーク及び40選マップ作成、②地元食材を活用した八食版ピンチョスの開発、③40周年の宣伝、販路開拓   |
| 17   | 八戸市  | ⑦その他       | 新型コロナウイルス等感染拡大防止のためのMADE IN青森 PCR検体採取BOXの開発            | 八戸工業大学                   | 2,000       | ウイルス感染防止のためのHEPAフィルタを有した送風機により陽陰圧化を可能とした高性能なPCR検体採取BOXを開発することで、PCR検査数を増やし今後予想される新型コロナウイルスの第二波及びインフルエンザ同時流行による医療崩壊と医療従事者の感染を防止する。さらに「MADE IN青森ブランド」の他に類を見ない高性能なPCR検体採取BOXを開発することで新しい事業を創造する。<br>【事業内容】 ① 新型コロナウイルス等感染拡大防止のためMADE IN青森PCR検体採取BOXの試作と改良、②MADE IN青森PCR検体採取BOXの販路開拓、③ブランド化に向けた検討とPR活動 |
| 18   | 八戸市  | ⑥スポーツ・文化交流 | 是川団地活性化をめざした是川縄文アートプロジェクト                              | 是川団地町内連合会                | 602         | 現在 人口減、高齢化等で停滞する是川団地に活力を与え、是川団地の魅力を発信することにより団地への新しい住民の移住、関係・交流人口の促進につなげるとともに是川団地中央公園の壁面に縄文遺跡をモチーフとした壁画を描くアートプロジェクトを行い、是川縄文遺跡の魅力を広く発信する。<br>【事業内容】 ①事業の公募・PR、②中央公園壁面ペイント  |
| 19   | 八戸市  | ⑦その他       | 医療用新型コロナウイルス防護服の開発                                     | 八戸工業高等専門学校               | 950         | 熱中症予防用ファンつき空冷作業着を改良することによって、飛沫が顔等に付着することを防ぐ感染防止服を開発し、医療従事者が安心してコロナ患者を看病できる環境を提供する。<br>【事業内容】 ①安全なコロナウイルス防護服の開発、②エアロゾル感染の安全性実証試験の実施、③防護服の製造・販売  |
| 20   | 黒石市  | ⑤観光開発      | 台湾・ニューヨークをKnock <sup>2</sup> する                        | Knock <sup>2</sup> World | 2,000       | 「『開黒カイコク』黒石愛で繋がり 世界の扉をノックする」を会の理念とし、その実現のため、台湾・ニューヨークから外国人観光客を増やすためのプロモーションを実現し、海外に黒石をPRしていく。<br>【事業内容】 ①台湾・ニューヨークからの招聘、②ホームページ等制作   |
| 21   | 黒石市  | ⑤観光開発      | 観光客まちあるき満足度向上環境整備                                      | 黒石市(観光)                  | 827         | 国内外から訪れる観光客の利便性を増やすため、屋外での広域Wi-Fiを設置し、まちあるきの満足度の向上を図るため、環境整備を進める。<br>【事業内容】 ①中町こみせ通りのWi-Fi環境整備、②インスタ映えする写真の撮り方講習会、③まちあるきSNSフォトコンテスト開催  |

| 事業番号 | 関係地域  | 助成種目     | 事業名                                     | 事業実施主体          | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要  |
|------|-------|----------|---|-----------------|-------------|--|
| 22   | 五所川原市 | ③商品開発    | 五所川原産「赤キクイモ」のブランド構築に向けた商品開発と販路拡大事業      | 五所川原赤キクイモ生産者協議会 | 1,195       | 「赤キクイモ」の栽培技術の確立を図り、高品質で安定した収量を確保するとともに、「赤キクイモ」のブランド化を進め、付加価値の高い農作物の生産を目指す。また、全国へPRし、「赤キクイモ」の周知を図りながら、健康食品等への商品化を目指した6次産業化にチャレンジする。<br>【事業内容】 ①栽培技術向上に向けた先進地視察、②高品質生産への栽培実験、③赤キクイモの成分分析、④協議会ホームページの作成、⑤赤キクイモPR用リーフレットの作成          |
| 23   | 十和田市  | ③商品開発    | 十和田産の野菜を原材料とした乾燥野菜の商品開発                 | 十和田乾燥野菜の会       | 733         | 十和田産野菜・果物を原料とした乾燥物や料理レシピを開発し、調理の簡便化の時流に乗り、野菜の摂取量増大による短命県克服に寄与する。また、乾燥粉末や十和田産野菜を原料とした加工塩を開発し、減塩効果もPRしながら、生産者の所得向上と消費者の健康な生活をめざす。<br>【事業内容】 ①十和田産野菜を原料とした乾燥野菜の開発(光照射乾燥方法の確立等)、②十和田産野菜を原料とした野菜塩の開発、③商品の販路開拓に関する調査研究                 |
| 24   | 十和田市  | ⑤観光開発    | アートのある地域づくり事業                           | (一社)十和田奥入瀬観光機構  | 1,600       | 十和田市現代美術館周辺を起点とした「街なかアートマルシェ」及び「街なかイルミマルシェ」を開催し、現代美術館(街なかイベント)→マルシェ→中心市街地の導線を作り上げることで、中心市街地での滞在時間の延長、消費拡大を図る。<br>【事業内容】 ①街なかマルシェの開催、②十和田産品活用おつまみ開発、③先進地視察  |
| 25   | 十和田市  | ⑤観光開発    | 十和田市馬事公苑周辺における冬季賑わい創出事業                 | 駒っこランド雪像制作実行委員会 | 1,605       | 十和田市馬事公苑で開催している「駒っこランド雪まつり」「雪像コンテストin駒っこランド」に夜間のイベントを追加することで、一日中楽しむことができ、若者や家族連れの参加を見込むことができる。今般の新型コロナウイルスにより、ストレスを感じている方々の癒しや憩いの場となること、また、体の免疫力を高める食材(十和田産品)を利用した食事等を提供すると共に、地域の活性化に貢献することを目的とする。<br>【事業内容】 ①雪像イベントの拡充、②広告活動の充実 |
| 26   | 十和田市  | ⑤観光開発    | 十和田湖観光の新たなシンボルとなる「十和田スカイランタンフェスティバル」の開催 | 十和田湖湖水まつり実行委員会  | 2,000       | 十和田湖湖水まつりのメインイベントとして、新型コロナウイルスの影響からの復興を願う気持ちを込めた「十和田湖スカイランタンフェスティバル」を開催し、十和田湖の湖水美を活かした新しい魅力的な景観の創出、これまでなかった宿泊者等の夜の体験コンテンツとして定着を図る。<br>【事業内容】 ①十和田湖水まつり十和田湖スカイランタンフェスティバル開催   |
| 27   | 三沢市   | ⑤観光開発    | 冬季まちなか賑わいスポット創出と面的展開による地域経済循環観光消費促進事業   | 三沢市商工会          | 2,000       | イベントオフシーズンとなる冬季における時間消費・滞在型観光促進による地域消費経済効果を高めることで、三沢市の豊富な農畜水産食材の料理飲食消費向上と宿泊を伴う観光消費向上、観光素材PR、中心市街地活性と併せて地域内経済好循環効果が期待できる。<br>【事業内容】 ①「ミサワ・パンタシア」イルミネーション装飾&屋外仮設バー設営、②クリスマスフェスティバル連動的展開  |
| 28   | 三沢市   | ④市場・販路開拓 | 三沢産魚介類の地産地消及び販路拡大パイロット事業                | 三沢市漁業協同組合       | 1,670       | 市街地の野菜集出荷所で地元魚介類を販売することで市内飲食店での地元魚介類の提供が増え、市民も手軽に提供できるため、地産地消が一層推進される。また、三沢市で現在検討中の産直施設建設の実証実験(パイロット事業)にもなり、漁協の販路開拓にもつながる。<br>【事業内容】 ①野菜集出荷所における魚介類を販売するパイロット事業、②PR活動及びモニタリング  |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名   | 事業実施主体               | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要   |
|------|------|------------|---|----------------------|-------------|---|
| 29   | むつ市  | ⑥スポーツ・文化交流 | 「下北ジオパーク体験学習」支援事業                                 | 認定NPO法人<br>斗南どんどこ健康村 | 400         | 大地(ジオ)の上に広がる動植物系(エコ)と人間(ヒト)の3要素のつながりの「下北ジオパーク」について、ヒトに関わる歴史、文化、産業に焦点を当てた学ぶ機会を提供し、子どもたちが、故郷を知り、郷土を愛する心を育むよう人材育成に取り組む。<br>【事業内容】 ①「下北ジオパーク体験学習」受入、②ジオガイド資料作成、③講演会開催                           |
| 30   | むつ市  | ④市場・販路開拓   | 新型コロナに対応した「海峡サーモンR」BtoC商品開発及び販路拡大事業               | 北彩漁業生産組合             | 1,882       | 海峡サーモンを使った炙りサーモン丼などのテイクアウト商品、珍味、酒盗、ヒレ酒用のヒレなどの通販用商材の開発を行い、カタログ等の販促媒体を整備する。また、COVID-19拡大防止に配慮した屋外型展示会等へ出展することで当組合にとって新たな取組となるBtoC販路開拓の強化を行う。<br>【事業内容】 ①海峡サーモンの新商品開発と媒体整備 ②新商品の販路開拓           |
| 31   | 蓬田村  | ②技術開発      | 蓬田たまねぎブランド化推進事業                                   | 蓬田たまねぎ生産組合           | 638         | 蓬田村では、たまねぎ栽培を推進し、今後3年間で作付面積15ha目指し、県内でのトップクラスの産地化に取り組む。そのため、今後計画的に農機具を導入し、収穫量の増加と所得向上を目指す。<br>【事業内容】 ①産地化に向けた先進地視察、 ②産地化に向けた各種農機具の導入  |
| 32   | 深浦町  | ④市場・販路開拓   | 「道の駅ふかうら」で一年中買える深浦マグロ販売戦略事業                       | 風合瀬漁業協同組合            | 671         | 深浦マグロの通年販売する仕組みを確立し、深浦マグロの知名度向上、販路拡大及び町全体の課題でもある冬期来場者の増加を目指す。<br>【事業内容】 ①冷凍深浦マグロ加工技術の習得及び機器整備、②冷凍深浦マグロPR活動  |
| 33   | 深浦町  | ③商品開発      | 地域特産商品を使用した「深浦土産」の商品開発及び地域連携による町の活性化事業            | 一般社団法人<br>深浦町観光協会    | 739         | 深浦産農林水産物を使用した「深浦土産」の販売を実施することによって、地元生産者と各事業所の連携のつながりによって町の活性化につなげる。<br>【事業内容】 ①深浦産農林水産物を使用したお土産品の開発・販売。   |
| 34   | 中泊町  | ⑤観光開発      | 宮越家「離れ・庭園」本格公開に向けたICT活用等調査及び観光商品開発による観光需要喚起対策推進事業 | 中泊町                  | 1,025       | 宮越家「離れ・庭園」の試験公開を機に、中泊町博物館HPにWeb特設サイトを制作し、ICTを活用しながら全国発信し観光誘客を目指す。<br>【事業内容】 ①宮越家「離れ・庭園」を発信するWeb特設サイトの試験制作、②青森公立大学と連携した飲食店・宿泊施設等のモニター調査、③地元民に愛される宮越家関連お土産品(お菓子)の開発、④津軽中里駅舎内(駅ナカ)で体験できるメニュー開発 |
| 35   | 野辺地町 | ①人材育成      | 日本遺産・北前船関連文化財の活用と子どもガイド育成事業                       | 野辺地町教育委員会            | 80          | 野辺地町は、北前船の寄港地として栄えたことから、その文化財や歴史を伝え活用し、町の歴史に興味を抱き、地域を愛する人材の育成を図り、若い世代の史跡ガイド増加をめざす。また、文化財、歴史のまちあるき等への活用により、観光資源として、交流人口拡大や地域活性化を図る。<br>【事業内容】 ①地域学習コンテンツ開発と人材育成、②寄港地PR活動                     |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名                          | 事業実施主体                | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要  |
|------|------|------------|------------------------------|-----------------------|-------------|--|
| 36   | 七戸町  | ⑦その他       | 南部縦貫鉄道を色々な方々に知ってもらうための活動     | (一社)南部縦貫レールバス愛好会      | 1,200       | 1997年運休、2002年廃止の七戸町の南部縦貫鉄道について、保有している貴重なレールバス車両群を広く地域の方々等に興味を持っていただくため、体験イベント等を企画し、活動に参加していただくとともに、線路の安全対策にも配慮し、鉄道公園を安全に遊べる場所として構築していく。<br>【事業内容】 ①小学生及び親子連れを中心とした体験イベント開催、②つつじ植樹会実施                     |
| 37   | 東通村  | ⑥スポーツ・文化交流 | 関係人口を増やせ！空き家「ぬぐだまり」利活用プロジェクト | 一般社団法人 tsumugu        | 800         | 都市部の応援者と連携した移住体験者の呼び込みを行い、交流人口・関係人口や移住・定住の拡大を図りつつ、収益が生まれる環境を整え、将来はコミュニティビジネスとして採算の取れる事業としたい。また、地域住民が管理運営主体となり、空き家再生と地域コミュニティ創出をめざす。<br>【事業内容】 ①起業希望者向けの環境整備、②夏、秋、冬にこだわった東通村ならではのイベント実施、③体験農園の整備検討        |
| 38   | 南部町  | ⑤観光開発      | 南部を楽しむ冬の観光コンテンツ造成事業          | NPO法人 青森なんぶの達人村       | 571         | 南部町内の観光施設や事業提供者と連携して、新たな冬場の観光コンテンツ、体験メニューを開発し、南部町の冬季の観光客増加と満足度向上をめざす。<br>【事業内容】 ①雪道でも走れるファットバイクを活用した里山アクティビティ開発、②スノーシューで歩く里山アクティビティの開発   |
| 39   | 階上町  | ②技術開発      | アイナメ種苗量産技術の開発                | 公益社団法人 青森県栽培漁業振興協会    | 1,532       | アイナメを階上町の魚「アブラメ」として指定しているが、その資源確保に多くの課題がある。そこで、これまでの知見等から、放流後の定着性が強いと言われていることなどを踏まえ、種苗放流(栽培漁業)によって資源増大に寄与できるように安定的な種苗量産技術を開発する。<br>【事業内容】 ①種苗量産技術開発試験(受精卵確保と管理、生残率向上試験、視察研修)                             |
| 40   | 階上町  | ③商品開発      | 「階上アブラメ」ブランド化推進事業            | 階上町                   | 2,000       | 階上町の魚として制定した「アブラメ」について、生態等の基礎的研究のほか、魚食普及と認知度向上に向けた新たな加工商品や飲食店メニュー開発と積極的なPR・販促活動、鮮度保持による輸送技術の研究、安定供給を考えた資源確保対策などに取り組み、町の水産物のブランド化をめざす。<br>【事業内容】 ①消費拡大(商品開発、PR活動)、②流通促進(活魚輸送)、③資源管理(稚魚放流、自主的資源管理、漁獲法研究)   |
| 41   | 中南   | ③商品開発      | 「作り手と使い手をつなぐデザインプロジェクト」      | 作り手と使い手をつなぐデザインプロジェクト | 1,664       | 衰退傾向にある県内工芸産業の活性化のため、優れた才能を持つ工芸品作家やデザイナーを県内で育成する必要があり、作り手と使い手をつなぐデザインプロジェクトとして新商品開発や展示会、セミナーを開催しながら、産地活性化に向けた組織づくりに取り組む。<br>【事業内容】 ①新商品開発及びセミナー、②荻野勝彦デザイン展、③翌年度事業計画策定                                    |
| 42   | 中南   | ⑤観光開発      | 弘南鉄道を活用した広域観光商品開発プロジェクト      | 弘南鉄道アソビプロジェクト実行委員会    | 1,595       | 観光客へ他の地域・鉄道にない魅力の発信と、地域住民がその価値を再発見できるよう魅力を発信することで、弘南鉄道のリピーターやファンになってもらい、利用客の減少傾向に歯止めをかけるとともに、地域の重要な公共交通機関として、将来にわたって弘南鉄道の存続を図る。<br>【事業内容】 ①沿線資源の収集・発掘、②モデルルートの作成、③コースビデオの制作と情報発信、④旅行エージェントや旅行ライターへのアピール等 |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名                            | 事業実施主体                                   | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要   |
|------|------|------------|--------------------------------|--|-------------|---|
| 43   | 三八   | ③商品開発      | はちのへエリア特有の資源を活用した新商品開発と販路開拓事業  | 一般財団法人<br>VISITはちのへ                      | 2,000       | はちのへエリアに存在する特産品や未利用資源等を活用した新たなお土産・ギフト向けの商品開発を若い女性グループを設置し、これまでにない感覚で公開しながら進めるとともに、当エリアの事業者による開発意欲・能力の向上により、新商品が開発されることで地域への経済波及効果を高める。<br>【事業内容】 ①VISITはちのへ商品開発女子部の設立と商品開発、②開発商品の販路開拓、③ブランド化に向けたプロモーション活動 |
| 44   | 三八   | ⑦その他       | 青森県産畜産物の消費拡大と畜産業への就労拡大に向けた啓蒙活動 | 一般社団法人<br>青森県畜産・<br>飼料コンビ<br>ナート振興協<br>会 | 190         | 県民に対して、青森県は冷涼な気候や飼料コンビナート立地など畜産業に優位な条件を有する「畜産県」である認識を高め、「地産地消」活動や畜産業を学ぶ機会を提供し、「畜産業は地元の重要産業の一つ」との理解を深めることで、畜産の担い手確保や地域経済の活性化につなげる。<br>【事業内容】 ①畜産企業見学会開催、②親子グルメBBQイベント等地産地消の取組、③畜産料理教室、④ホームページ開設            |
| 45   | 西北   | ①人材育成      | 西海岸なまこ資源量把握手法開発事業              | 西海岸二町水<br>産振興協議会                         | 826         | 簡易な観測機器の開発により、漁業者用のなまこ資源量把握法を普及し、資源管理を前提としたなまこ漁を促しながら、西海岸二町のなまこ漁業生産量を安定的に増大させる。<br>【事業内容】 ①海底曳航機器の開発、②開発機器による実測調査及び普及   |
| 46   | 下北   | ③商品開発      | 下北ジオダイニングで生まれた食を活用した地域PR事業     | 一般社団法人<br>しもきたTABIあ<br>しすと               | 302         | 自然(ジオ)の恵みから生まれたものとしての付加価値をもたせた商品の販売を通じて、下北ジオダイニングや地域の食、下北ジオパークの認知度向上に貢献する。<br>【事業内容】 ①下北地域の食材を使用した商品開発、②販路開拓、③PR活動、④評価・ブラッシュアップ   |
| 47   | 下北   | ④市場・販路開拓   | 下北プチぶよブランド化に向けた生産技術の向上と販売力強化   | 下北プチぶよ<br>研究会                            | 1,031       | ミニトマトを経営の軸としている新規就農者を中心に「下北プチぶよ研究会」を結成し、栽培技術の向上と平準化に取り組んでおり、今後は、「地域に愛され売れるプチぶよ(ミニトマト品種)づくりと単価アップ」を目標に出荷規格やパッケージ統一及び販路拡大等に取り組む。<br>【事業内容】 ①出荷規格の統一とコンセプトづくり、②パッケージ統一による販売促進                                |
| 48   | 下北   | ⑥スポーツ・文化交流 | 斗南藩150年記念事業                    | 斗南會津会                                    | 1,094       | 「斗南藩150年」を期して、広く市内外に対して斗南藩に対する理解をさらに深め、江戸から明治へと大きな社会のうねりの中にあった当地の存在感を示し、地域の活性化に寄与する。<br>【事業内容】 ①尻屋崎灯台建設に関わった斗南藩士の調査、②「我が一族」編纂・印刷製本、③「斗南藩150年」記念のぼり・記念小旗作成、記念切手購入、④田名部神社例大祭協賛流踊り参加                         |
| 49   | 津軽   | ①人材育成      | 日本語教育ボランティア養成事業                | 一般社団法人<br>国際にほんご<br>教育センター               | 178         | 主に津軽地域で日本語ボランティアを希望する一般市民を対象に、無料で日本語文法・教授法の公開講座を開講し、もって社会の需要に応える。<br>【事業内容】 ①日本語文法・教授法の無料公開講座、②日本語教授法のための研修 ③図書購入   |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名                          | 事業実施主体               | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要  |
|------|------|------------|------------------------------|----------------------|-------------|--|
| 50   | 津軽   | ③商品開発      | 「りんごの花びらを活用した商品開発と農福連携事業」    | りんご花びら活用研究会          | 1,249       | 未利用資源「りんご花びら」を活用した商品開発を進め、「りんご花びら活用食品ブランド」を新たに創出するとともに、花びら収穫作業を通じて障がい者の働く場を創出する。<br>【事業内容】 ①りんご花びら活用商品の開発、②①の情報発信及び販路開拓  |
| 51   | 津軽   | ⑤観光開発      | 観光商品『岩木川リパートレース』の開発と拡販事業     | 岩木川観光商品開発協議会         | 2,000       | 岩木川をトレースするアドベンチャーツアーを造成し、ツアー参加者に自然景観及び流域の人々の暮らしなどの文化や食事を体験させるとともに、ガイドする人材を育成しながら、観光客の受入体制を整備する。また、ツアー商品化により、岩木川流域の情報発信を継続する。<br>【事業内容】 ①先進地視察、②岩木川リパートレースコース調査及び設定、③ガイド育成、観光商品化  |
| 52   | 津軽   | ③商品開発      | 抗菌作用に着目した商品開発・PRプロジェクト       | 青森県漆器協同組合連合会         | 1,826       | コロナウィルス拡大により、弘前さくらまつりやねぶたまつりの中止により、観光客が激減し、お土産品としての津軽塗の販売も大変厳しい状況にある。そこで、今後秋からのPRイベントに参加するとともに、漆の抗菌作用に着目した情報発信とランチボックスの初めての商品開発を行い、新たな需要を掘り起こしと販路を拡大を図る。<br>【事業内容】 ①抗菌作用をPRする小冊子制作制作、②抗菌作用に着目した商品開発、③販路拡大・PRイベント出展、④ECサイトテスト販売 |
| 53   | 県南   | ②技術開発      | 青森県の地域産業振興を旨としたミネフジツボの養殖技術開発 | 八戸学院地域連携研究センター       | 1,774       | 稚フジツボの生産効率の安定化やフジツボ養殖の採算性の実証、養殖フジツボの市場性等を検証するため、八戸学院が三沢市漁協や県八戸水産事務所等と協力し、養殖適地の少ない本県太平洋側の三沢漁港を中心にミネフジツボを基軸とした地域産業振興をめざす。<br>【事業内容】 ①稚フジツボの生産効率の安定化、②フジツボ養殖の採算性の実証、③養殖フジツボの市場性の検証  |
| 54   | 県南   | ⑥スポーツ・文化交流 | 青森の魅力発信、水辺の自然体験体感事業          | 小川原湖自然楽校             | 558         | 2020年9月に三沢市で開催される「第20回川に学ぶ全国大会in小川原湖」を契機に、全国から集まってくる水辺で活動している指導者等に対して、小川原湖周辺の多様性を体感してもらい、かつ青森の魅力を発信して水辺体験等の知名度を上げ、集客に結びつける。<br>【事業内容】 ①三沢市根井沼の浮島イカダ探検、②高瀬川カヌー体験、③土場川生き物観察、④仏ヶ浦シーカヤックツアー、⑤薬研渓流のヒバ林森林浴ツアー、⑥シーカヤックツアー等PV撮影        |
| 55   | 全県   | ①人材育成      | 地域防災力UPで青森を元気に！！プロジェクト       | 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと | 640         | 防災&地域コミュニティカフェTASUKEAIとしてワークショップを開催するとともに、防災資材を活用した避難所開設・運営訓練などリアリティある訓練をすることで、地域防災力を高め、「安心・安全な地域づくり」、「まちの活性化」につなげる。<br>【事業内容】 ①防災&地域コミュニティカフェTASUKEAIでのワークショップ、ファシリテーターとの情報共有、②防災資材活用で防災実践力UP、③先進地視察研修                        |
| 56   | 全県   | ①人材育成      | 未来のおももり知財人財指導者育成事業           | 一般社団法人青森県発明協会        | 237         | これまでに小中高生等を対象に各種の知的財産に関する出張講座を開催し、年々、そのニーズが高まってきているが、全ての要望に応えられない状況にある。このため、県内各地域の教育機関や少年少女発明クラブなどの指導者の知的財産や創造性育成に関する指導能力の向上を図る。<br>【事業内容】 ①指導者スキルアップ講座、②初めての科学体験授業、③知財創造力育成授業   |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目     | 事業名  | 事業実施主体                | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要  |
|------|------|----------|--|-----------------------|-------------|--|
| 57   | 全県   | ③商品開発    | 海藻を活用した商品の関西圏販路開拓と「藻活」全国PR・啓蒙活動実施事業              | あおもり海藻コンシェルジュ協会       | 1,325       | 東京、大阪等で市場調査を行い、健康志向の消費者ニーズに合わせた商品を開発するとともに、青森県＝海藻王国を認知させ、海藻のブランド化を図るため、海藻の持つ機能性成分の情報収集、分析を行いながら、インバウンド需要や輸出も考えたブランディング、地域産業化をめざす。<br>【事業内容】 ①先進地の関西地方のアイデアを取り入れた商品開発、②関西圏への販路開拓、ニーズ調査、③その他啓蒙活動   |
| 58   | 全県   | ③商品開発    | 「少量多品種青森県産食品ブランド『 <small>アオクク</small> 』の首都圏展開事業」 | AOQQの会                | 2,000       | 消費地の大型展示会において青森県産食品に対して「軽薄短小ニーズ」があり、中小零細企業ではコスト面等のリスクから簡単に挑戦できなかったことから、新たに「少量多品種」の新ブランド、「青森の銘品を少しずつ楽しめるAOQQ」として、メーカーの垣根を越えて首都圏販路へ展開していくこととし、県内中小食品製造業の活性化、ひいては農漁業の振興に寄与する。<br>【事業内容】 ①県産原料を用いた新商品開発、②新商品の販路開拓  |
| 59   | 全県   | ③商品開発    | 青森の伝統工芸推進・発展に向けた商品開発とブランディング事業                   | 青森伝統工芸推進研究会           | 1,387       | 青森県の工芸や文化のプラットフォームとして、県内外の伝統工芸や文化とコラボし、一つの分野に絞ることなく製品開発や情報発信しながら「ALL青森」を前面に押しつけて地域貢献に努めるとともに、県内外、海外の「青森ファン」を増やす。<br>【事業内容】 ①製品試作・開発・プロデュース(津軽塗、こぎん刺し、ねぶた、縄文、あおもり藍等)、②PR活動  |
| 60   | 全県   | ④市場・販路開拓 | 青森の黒にんにくによる地域づくり、次世代人材育成事業                       | NPO法人黒にんにく国際会議        | 2,000       | 黒にんにくの新産業発展の持続可能性を高めるため、地域において次代を担う中高生との交流、アイデアにより、新料理メニュー開発を進めるとともに、これまで取り組んできたHACCPについても、新たな手引書を参考に本県産黒にんにくの食品安全性の向上を図るとともに、中高生も対象としたセミナーを開催するなど、総合的な黒にんにくの人材育成事業及び持続可能な産地づくりを目指す。<br>【事業内容】 ①県内中高生黒にんにく料理グランプリ実施、②黒にんにくHACCP等による事業者衛生基準の向上、③黒にんにく取組セミナー実施 |
| 61   | 全県   | ④市場・販路開拓 | 「あおもり和牛」のブランド構築に向けた消費宣伝事業                        | あおもり牛販売促進協議会          | 2,000       | 令和元年度から県内各産地のブランド名は継承しつつ、本県産黒毛和種の統一銘柄を「あおもり和牛」、肉質等級4以上を「あおもり和牛プレミアム」としてブランド化に取り組み、集荷・販売促進、銘柄の認知度・評価向上により、価格の底上げと経営安定化、強いては担い手の確保につなげる。<br>【事業内容】 ①「あおもり和牛」情報交換会開催による仲卸へのPR(▲33%)、②メニュー提案による「あおもり和牛」試食会開催、③販促資材の作成(▲8%)、④牛乳普及協会と連携した「あおもり和牛」提供【新規増額】          |
| 62   | 全県   | ④市場・販路開拓 | あおもり日本酒テロワールによる県産酒振興事業                           | 地方独立行政法人 青森県産業技術センター  | 655         | 「華さやか」「吟烏帽子」を切り口に青森の日本酒の魅力を伝え、新規取扱店の獲得とインフルエンサーによる活発な情報発信を行い、県産日本酒の消費拡大を図る。<br>【事業内容】 ①青森県の酒の魅力を伝えるWebサイト作成、②吟烏帽子・華さやか業界向け商談会・試飲会  |
| 63   | 全県   | ④市場・販路開拓 | 林業・木工・販売の事業者連携による大型木製家具の販路開拓事業                   | 青い森マンションウッドリノベーション協議会 | 2,000       | 本県の林業、木工、販売の異業者が連携し、開発した県産木材製品の首都圏への販路開拓を図る。また、海外への販路開拓の可能性を探る。<br>【事業内容】 ①販路開拓のための商品展示・PR活動、②海外への販路拡大に向けた調査活動   |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名                        | 事業実施主体                 | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要   |
|------|------|------------|----------------------------|------------------------|-------------|---|
| 64   | 全県   | ④市場・販路開拓   | 青森県産水産物アジア輸出拡大事業           | 青森県農林水産物輸出促進協議会        | 792         | 「青森県輸出・海外ビジネス戦略」に基づき、青森県産水産物、特に同戦略において「最重要品目」に位置付けられているホタテの戦略対象国・地域への輸出拡大を図る。<br>【事業内容】 ①情報発信活動、②販路開拓活動、③プロモーション活動  |
| 65   | 全県   | ⑤観光開発      | 青森・台北線相互交流推進事業             | 青森空港国際化促進協議会           | 1,600       | 台湾の定期便が就航し、利用率が約9割となる等好調なスタートを切っているが、エバー航空ではアウトバウンドの利用率が低い路線は就航後短期間で撤退した例もあり、今後も今の勢いが持続できるかは課題となっている。県民及び訪日台湾人双方にインバウンド・アウトバウンド双方に効果を発揮する効果的かつ継続的なPR活動を実施する。<br>【事業内容】 ①台湾食イベントの実施、②キャンペーンロゴ等の制作、③台湾関連商品情報発信事業                        |
| 66   | 全県   | ⑤観光開発      | 青森eスポーツプロジェクト              | NPO法人 あおもりIT活用サポートセンター | 640         | 10代の中高生・大学生等若年層の県民を主な対象とし、ゲームクリエイターをはじめとしたeスポーツ・ゲーム業界への就職・就業を実現するための人材を育成する。将来的には優秀なゲームデザイナー・エンジニア等の人材輩出、地域活性化をめざす。<br>【事業内容】 ①ゲームクリエイター養成講座の開催、②青森ゲームトーナメントの開催   |
| 67   | 全県   | ⑥スポーツ・文化交流 | スノースポーツパーク青い森              | スポーツ青い森グループ            | 900         | 新青森県総合運動公園の広大な敷地と青森の積雪を活用し、子どもから大人まで楽しめるスノーアクティビティ施設(スノーモビル等)を常設することで、冬季間における賑わいの場を提供し、県民の健康増進に繋げる。また、冬場の観光資源としてインバウンドや県外旅行者の誘致に繋げる。<br>【事業内容】 ①スノーモビル体験等スノースポーツパーク運営   |
| 68   | 全県   | ⑥スポーツ・文化交流 | 人と人がつながる共生社会を目指す事業         | NPO法人 日本人財発掘育成協会       | 461         | 「ヒューマンライブラリー」は、文化の多様性認めようという趣旨で主に社会的少数者が「本」役となって語り、参加者である「読者」がそれを聞き、語り合うイベントである。青森という地域に住む、元気や勇気を与えられる人を始め、社会的少数者の語りを聞き、語り合うことで、双方に相互理解が進み、人をつなげる地域づくりに寄与する。<br>【事業内容】 ①イベント実施(3市)、②「本」役を揃える(年間30冊(人))、③事業運営研修会開催、④将来性を考えた活動普及(パンフ配布) |
| 69   | 全県   | ⑦その他       | あおもり食育検定の実施及び食育推進リーダー等育成事業 | あおもり食育検定委員会            | 1,000       | 「あおもり食育検定」実施、公式テキスト刊行、公開講座等を実施し、青森県の農林水産物、郷土料理、食文化等について理解を深めるとともに正しい食生活の理解による健康寿命の延伸をめざす。<br>【事業内容】 ①「あおもり食育検定公式テキスト2020」刊行、②「あおもり食育検定2020」の実施、③食育イベント・食育講座実施   |
| 70   | 全県   | ③商品開発      | 津軽・下北地域周遊促進事業              | むつ湾内航路活性化推進会議          | 1,925       | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた需要の回復等を目的として、むつ湾フェリーを利用した津軽・下北地域の周遊を新聞等でPRし、周知を図っていくとともに、フェリー利用の促進キャンペーンを実施し、団体から個人・グループ客向けの新たな取り組みと需要拡大を図る。<br>【事業内容】 ①フェリー活用による津軽・下北地域周遊促進PR、②「同乗者無料キャンペーン」   |

| 事業番号 | 関係地域 | 助成種目       | 事業名  | 事業実施主体           | 助成額<br>(千円) | 事業計画の概要  |
|------|------|------------|--|------------------|-------------|--|
| 71   | 全県   | ⑥スポーツ・文化交流 | オンラインを活用した新しい大会様式の調査・研究事業                          | ファッション甲子園実行委員会   | 2,000       | コロナ渦であっても全国規模のファッション甲子園を開催できる方法として、オンラインの活用の可能性を調査・研究し、来年度以降のファッション甲子園運営にあたり、全国からの移動や一ヶ所に密集する状態を避け、感染を徹底排除した新しい大会様式を策定する。<br>【事業内容】 ①ミニ・リモートファッション甲子園、②来年度以降の本格導入(オンライン化)に向けた検討  |
| 72   | 全県   | ⑦その他       | 新しい生活様式で楽しむサイエンスカフェ(健康と科学の学び)と、おうちでつくろう工作・手芸キットの販売 | ハンドクラフトのあっとほむ    | 437         | 開催場所の団体等と連携して、「健康」と「新しい生活様式」を考え実行しながら、科学的視点で、子どもから大人までに学びの機会を提供する。<br>【事業内容】 ①サイエンスカフェの企画運営、②家でできる科学工作、手工芸のキット販売、③福島森の科学センター、岩手県奥州遊学館での研修  |
| 73   | 全県   | ⑤観光開発      | 津軽・下北地域活性化と県民の健康づくり推進事業                            | NPO法人青森県ウォーキング協会 | 2,000       | 青森県民限定で 津軽・下北地域の観光およびウォーキングツアーをおこなう。ウォーキングを組み込むことで健康増進を意識付け、また観光および飲食業界を活性化させることにより、市町村の地域振興と経済活性化を図る。<br>【事業内容】 ①現地調査、②ツアーの開発・実施、③県民への周知、④アンケート調査の実施  |
| 74   | 全県   | ③商品開発      | 「あおり藍」健康食品開発・販路開拓発信事業                              | NPO法人プラットフォームあおり | 2,000       | with/afterコロナを見据えて世界中が新しい生活様式を模索している現状において無農薬で栽培した「あおり藍」から抽出したエキス使用の消臭・抗菌スプレーやサージカルマスクはこどもから大人まで安心して使える製品である。さらに食品としても優れた効果のある「あおり藍」の商品を開発し、「あおり藍」を地域ブランドとして広く認知してもらう。<br>【事業内容】 ①水素加工藍パウダーを使用した健康食品の開発、②健康食品の販路開拓、③ブランド化に向けた検討とPR活動 |